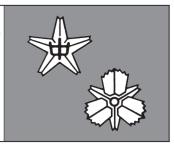


発 行 所

〒921-8517 金沢市泉野出町3丁目10-10 石川県立金沢泉丘高校内

一泉同窓会 電話(076)242-0211 FAX(076)216-5656 2020(R2).3.31.発行

E-mail: issen knz@hotmail.com



一泉同窓会(清水義博会長、会員数約4万2千人)は令和元 年秋から母校・泉丘高校のグローバル人材育成教育支援の資金 集めを開始した。国からのスーパーグローバルハイスクール

(SGH) 事業の指定が同年度限りで終了されるのに代わって、 国際舞台で活躍する後輩たちの育成支援を目指すもので、寄付 金を集め年間数百万円の拠出を予定している。事業開始から 4 カ月、令和 2 年 2 月15日現在、後輩想いと母校愛に満ちた善意 の寄付金は 3 百万円を超えた。

母校のグローバル化教育継続へ 国に代わり同窓会が資金支援 善意の寄付金、既に300万円超え



の生徒たち=令和元年7月12日・母校視聴覚室留学生に英語で課題研究の成果を発表するSGコ

母校・泉丘高校は平成15 (2003) 年に文科省のスーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業の指定を受け、現在4期17年目で継続中。また、同27 (2015) 年に同省の SGH 事業の指定を受けた。二つの事業により生徒たちは第一線の大学や企業で勉強したり、研究を重ね、米国への研修旅行を行っている。生徒たちは互いに切磋琢磨し、周囲へも好影響を与えて近年、東大をはじめとする難関大学の合格者も増大している。

しかし、ここに来て SGH 事業の指定終了で、今春から入学する生徒たちが先輩たちが体験した米国研修が金銭的な問題でできなくなっては大きなマイナスと懸念される。そこで平成5 (1993) 年の創立100周年記念事業で設立した一泉(同窓会)基金の助成事業枠を拡大、従来の模範生徒等表彰(一泉賞)、クラブ活動援助、国際交流活動助成、書籍購入助成、通信制教育振興など8項目に新たにグローバル人材育成を追加

し、母校における「グローバル人材育成」 をキーワードとする教育に対し資金援助を 行うことにした。

基金が新たに開始する助成対象の例を挙 げれば次のようである。

◇SGH、SSH教育として実施する全生 徒、及び特定グループ生徒を対象とした教 育活動全般に対する経費の助成

◇学術・文化並びにスポーツに関する各種世界大会に出場の際の個人、クラブ等への経費の助成

◇国際シンポジウム等を主催する場合の 経費の助成

◇その他

資金枯渇防止の寄付募る

母校への助成を考えるとき、長期的に 安定した基金基盤の強化が不可欠である。 寄付金により一泉基金が枯渇しないように、 常に水を継ぎ足していくことが大切であり、 同窓会事務局では一泉同窓生は無論、その 家族、関連企業だけでなく、賛同いただけ る全ての人々、企業、団体からの応援を歓 迎している。

「グローバル人材育成」に対する資金援

助案は令和元年10月15日、金沢駅前のANAクラウンプラザホテルで開かれた創立126周年記念一泉同窓会総会の席上で説明され、約800人の出席者の大きな拍手で承認され、その場から寄付の受付がスタートするなど、早くも母校応援の熱い思いが示された。

後輩たちの活躍を願ってこれまでに寄せられた善意の寄付の形はいろいろで、匿名個人からの大口や、子息が自慢できる社会人に育ったのは「泉丘」のお蔭だとする家族からのお礼の意味の寄付、開催した同期会の経費を削減して捻出したとするものや、わずかですが一と手紙付きの個人からの善意も多い。

寄付金の送り方は一泉同窓会の公式ホームページからも振り込めるし、銀行の振込用紙もある。分らない点は金沢泉丘高校内一泉同窓会事務局(電話=076-242-0211かEメール=kikin_adm@issen-dousoukai.org)に問い合わせればよい。

地区同窓会だより



母校への支援を誓い一泉同窓会 ^{令和元年度} 唐子さん(紫語)の横笛で幕開け

創立126周年記念・令和元年度の一泉同窓会総会・ 懇親会が10月15日夜、金沢駅前の ANA クラウンプラ ザホテルで開かれた。今年度幹事期の泉丘38期が掲げ たテーマは「平成から令和へ 時代を超えて次代へつ なぐ一泉魂」。出席した約800人の同窓生たちは、執行 部から提案された母校の SGH(スーパーグローバル ハイスクール)教育継続のための資金援助活動に賛同 し、後輩たちの国際舞台での活躍応援を誓い合った。

総会のあいさつで清水義博一泉同窓会会長(泉丘22 期)がグローバル時代の意義と後輩への期待、宮本雅 春校長がグローバル教育の実態と成果を報告した。

懇親会は38期の石尾和彦君と島村千佳さんが司会を務め、金沢ひがし茶屋街「中むら」の唐子さんこと亀田祐さん(同57期)の横笛演奏「竹林」で幕を開けた。続いて蚊谷八郎前会長(同14期)の発声で乾杯してにぎやかな酒宴となった。

恒例の応援歌と一中・泉丘の両校歌は、二人とも羽織袴に高下駄姿の同16期広瀬靖久さんと山本武生さんらのリードで大合唱となった=写真=。引継式では38期の連和彦実行委員長がお礼を述べ、来年度幹事の北川雅一朗代表(同39期)が「思い出深い同窓会となるよう頑張ります」と決意表明した。最後に林隆信副会長(同22期)がもう一度グローバル教育資金への援助協力をお願いし、三本締めを行って閉会した。



トピックフ

教育環境の整備にと20万円 泉丘38期が母校に寄贈

泉丘38期の連和彦代表と母校の石尾和彦教諭が 11月12日、校長室を訪れて宮本雅春校長に、教育 環境整備費として20万円を寄贈した=写真=。

10月15日に ANA クラウンプラザホテルで開いた創立126周年記念一泉同窓会総会・懇親会で販売した一泉タオルの益金などから捻出したもので、他に学校購買用にと同タオル150本も寄贈した。

寄贈式には米口一彦教頭も同席した。

令和5年度に迎える母校の 創立130周年の記念事業を審 議する4回目の準備委員会 (清水義博委員長ら20人)が 1月28日、金沢東急ホテルで 開かれ=写真=、新たに校庭 の桜の植え替え事業に着手す る意向を固めた。

準備委で出た諸事業案は今 後学校側とすり合わせて、年 度内に立ち上げる記念事業実 行委員会に付託、予算規模な どの詳細を決める。

一中・泉丘のシンボルでもある桜(ソメイヨシノ) はいずれも高樹齢で、植え替えは必至。140周年にま たがる継続的な事業とし、150周年で完成させる。

また、令和元年度から始まったグローバル人材教育 支援基金の募集事業を、あえて同5年度は130周年記

創立130周年記念事業準備委

校庭の桜植え替えに着手 4回目会議で大筋決める



念事業の柱の一つとして3万 人を超える全同窓生に寄付を 呼びかける機会とすることも 了承された。

さらに、これまで学校が単独で開催してきた記念講演会についても、同窓会との共催事業とし、グローバルシンポジウムとしてはどうか―との提案がなされた。内容的には海外で活躍中や帰国の同窓生5~6人を呼び、パネルディスカッションを開催したり、

基調講演を行って、現役生のグローバル人材育成に役立てようというもの。

他には100周年を機に開始し、10年ごとに更新している運動部の遠征用バス2台と、文化部用のワゴン車1台の購入を今回も継続することが確認された。

縦糸・横糸交流促し和やかに 関東一泉に泉40期が見事な運営

第61回(令和元年度)関東一泉同窓会総会・懇親会が10月26日、東京・西新宿のハイアットリージェンシー東京で開かれた。台風・大雨が続き各地で大きな被害が出た10月だったが、この日は好天に恵まれ、345名が参加した。泉丘40期が幹事団となった今回のスローガンは「一泉の襷(たすき)をつなげ!時代超え~令和になっても、つんだってこー!~」。「関東一泉同窓会」と刺しゅうの入った緑色の襷をした幹事たちが、年配期のテーブルの周りに若年期のテーブルを配置するなど先輩後輩の縦糸、同期の横糸交流を促す工夫を凝らした。

総会は泉丘40期の金浦和紀君と前田万寿美さんが司会を務め、北川秀二会長(同30期)があいさつ、本部の清水義博会長(同22期)の来賓あいさつ、宮本雅春校長の祝辞と続き、今後の母校への貢献について期待の言葉が述べられた。



懇親会は最長老の古澤英雄さん(一中42期、102歳)の矍鑠(かくしゃく)とした乾杯の音頭で始まり、懇談と酒宴の途中、幹事期の中村太郎君、澤井洋子さんが進行役のクイズ企画で大いに盛り上がった。北陸新幹線の駅名を冠したテーブルに年代の異なる出席者を15チームに分け、知恵を集めてクイズに挑戦した。アイデア満載のふるさと問題に歓声が上がった。

恒例の校歌とエールは幹事期の児玉芳忠君が見事な リードを披露、一中と泉丘の両校歌を高らかに斉唱し た。続いて40期の坂次哲也代表幹事がお礼の言葉を述 べて=写真=、次期代表幹事の高橋聖子さん(泉丘41 期) に襷を繋いだ。高橋さんも次年度総会の抱負を述べ、参加を呼びかけた。最後に関東の土井下健治副会長(同36期)の閉会の辞と三本締めで散会となった。 (山崎晶広=泉丘40期・記)

大学生の参加者を紹介・激励 39回目の関西一泉に70人出席



39回目の関西一泉同窓会が6月8日午後、大阪・中之島のフェスティバルプラザ2階の「ROAST」で開かれ、70人が出席して母校の発展を誓い合った。金沢からは清水義博一泉同窓会会長(泉丘22期)、宮本雅春校長、今秋の一泉同窓会総会・懇親会を運営する泉丘38期の連和彦実行委員長ら6人が出席した。

中村嘉克君(同35期)と中村明彦君(同37期)が3年連続で司会を務め、関西の片瀬貴文会長(一中55期)が歓迎のあいさつをし=写真=、清水本部会長が4年後に迫った創立130周年の取り組みなどについて説明、宮本校長が母校の様子を紹介した。続いて太田忠夫さん(同55期)の乾杯の音頭で酒宴となった。

恒例のふるさと銘菓が当たる抽選会では今年も岡谷雄二さん(泉丘19期)が、笑いを誘う名司会ぶりを発揮、会場はにぎわった。また、新試行として若手参加者が紹介され、阪大卒の木谷圭一君(同65期)、同大在学中の吉田和暉君、京大の川幡裕一君と諸野雅君(いずれも同68期)の4人に「頑張れ」の声援が飛んだ。

最後に同38期の連実行委員長が「10月15日には金沢で待っています」と秋の千人同窓会をPR、一中・泉丘の校歌を斉唱、関西の高橋初枝副会長(同4期)の閉会の辞で散会した。

二次会はいつものように北新地の「珠洲」(通信12期の松尾ゆきえさん経営)で行われ、金沢組も出席してもう一度盛り上がった。

酒類業務用卸 株式 **浦田酒販**

代表取締役 浦田 晴夫 (泉丘34期)

本社 〒921-8024 金沢市白菊町20-20 TEL(076)241-5865(代) FAX(076)241-5872 配送センター 〒920-0054 金沢市若宮1-167

おおのり歯科医院

歯学博士 大乗 衛 (泉丘34期)

〒921-8056 金沢市押野 1-505 TEL(076)244-6111 www.onori.jp

織田法律事務所

弁護士 織田 明彦 (泉丘34期)

〒920-0981 金沢市片町 2-2-15 北国ビル TEL (076)231-5980代) FAX (076)231-5938



新型肺炎にめげず69人出席 2回目の復活富山一泉同窓会

20年ぶりに復活した富山一泉同窓会の第2回総会・ 懇親会が令和2年2月26日夜、富山駅北口のタワート リプルワンビル3階のスカイホールで開かれた。当初 80人を超える参加申し込みがあったが、新型コロナウ イルスによる肺炎感染騒動で事前欠席が相次いだが、 それでも泉丘10期から社会人1年生の67期までの69人 が出席して一泉の絆を深め合った。金沢からは清水義 博一泉同窓会会長(泉丘22期)ら4人が出席した。

今村栄夫君(同37期)の司会で総会が始まり、堀祐一富山一泉同窓会会長(同23期)が「大変な時期での開催にもかかわらず、大勢の方にお集まりいただき感謝に堪えない。自己責任による勇気ある出席は泉丘スピリットそのものである」とあいさつした。続いて高瀬幸忠幹事長(同29期)が復活初年度の事業と収支決算、今年度の事業計画と予算案を報告、満場一致で了承された。また、来賓の清水一泉同窓会会長は、本部同窓会が取り組む現役生に対するグローバル教育支援事業について説明、富山の会員からの寄付に期待していると述べた。

会場を変えての懇親会は岡本仁顧問(同17期)の乾杯発声で始まり、会場はすぐににぎやかな歓談の場となった。富山での近況、ふるさと金沢や高校時代の思い出話に花が咲き、校歌斉唱では肩を組み合い=写真=、さらに盛り上がった。最後に谷内正立副会長(同23期)の万歳三唱で閉会となった。

なお、会場ではグローバル教育支援の寄付の場が設けられ、9万円余りが集まった。

株式 フェアスカイ・テクノロジー

代表取締役 加藤 真一 (泉丘34期)

〒135-0034 東京都江東区永代 1-10-11 TEL (050) 3638-0323 FAX (03) 3643-2833 URL: https://www.fairsky.into

84人が和やかに交流の輪広げる4回目の白山一泉同窓会開く

白山一泉同窓会の総会・懇親会が11月24日、同市のグランドホテル白山で行われた。松任地区から白山市全体の同窓生対象となって4回目の開催。今年は3年ぶりに一中の大先輩の参加もあり、市内の企業などに勤務する同窓生も交え84名が出席してにぎわった。

総会では、青木桂生会長(泉丘13期)が「今後も白山一泉同窓会として回を重ねながら参加者増を図り、 懇親を深めていく中で、会員相互の人間関係・交流を 広げていきたい」とあいさつした。続いて行われた講 演会では、金沢大学附属病院呼吸器外科の診療科長を 勤める松本勲氏(同36期)が、「喫煙と呼吸器外科治 療」と題して話された。

懇親会では冒頭、一泉同窓会の岡能久副会長(同20期)が祝辞を述べ、続いて岡橋勇侍副校長(同36期)から、現在の母校の状況や生徒達の様子に関する報告があった。



白山一泉の岡野重和顧問(一中57期)の音頭で乾杯して酒宴となったが、地域を同じくする同窓生の集まりで、親子や夫婦での参加もあり高校時代の思い出話だけでなく、地域の話題にも花が咲き、会場は終始和やかな雰囲気に包まれた。

最後に一中・泉丘の両校歌を斉唱、今年初めて用意 した応援旗を使って加藤義裕幹事(泉丘19期)による エール交換も披露された**=写真=**。中締めは福田裕副 会長(同18期)が行い、来年の再会を誓い合って大盛 況で会を終えた。 (小林 亘=泉丘45期・記)

建設機械レンタル・販売・修理

金剛産業株式会社

取締役会長 金岡 則夫 (泉丘 6 期) 代表取締役 金岡 賢二 (泉丘34期)

専務取締役 金岡 哲二 (泉丘42期)

金沢本社 〒921-8012 金沢市本江町11-30 TEL(076)291-5503 FAX(076)291-5502

働く幸せを提供することで、 日本を支える中小企業の成長に貢献します

株式会社フェアネス・コーポレーション

代表取締役 金子(山浦)厚子(泉丘34期)

国家資格キャリアコンサルタント

〒211-0068 神奈川県川崎市小杉御殿町2-32 ヴィラージュ小杉401 TEL&Fax 044-819-4732



E-mail info@fairness-corp.jp URL http://www.fairness-corp.jp/

「道がつくるにぎわい」を学ぶ 野々市一泉が懇親会前に勉強会

令和元年度の野々市一泉同窓会が6月15日、同市の 「にぎわいの里ののいち カミーノ」内の市中央公民 館ホールで開かれた。2年に1度の開催で、総勢70人 が出席した。

総会に先立ち野々市市観光物産協会事務局長の桝谷 泰裕事務局長が『道がつくるにぎわい「カレード」と 「カミーノ」』と題して講演、当日の会場でもある「カ ミーノ」や一昨年にオープンした図書館・「カレード」 の建設にかけた想いについて、野々市市の歴史に欠か せない旧北国街道とのつながりを交えながら話し、参 加者は理解を深めた。

総会では事務局の押田浩三さん(泉丘38期)が司会 を務め、田多野和彦会長(同15期)があいさつ、宮本 雅春校長と清水義博一泉同窓会会長(同22期)が母校 の近況と祝辞を述べた。

泉丘の校歌斉唱の後、同市役所の若手職員・東原賢 也さん(同64期)の乾杯の音頭=写真=で懇親会とな



った。地域を同じくする先輩と後輩、親友同士の集い なので話が弾みあっという間に予定の時間が過ぎ、中 村伸一郎副会長(同4期)による万歳三唱で名残を惜 しみながら散会した。 (熊谷貴秀=泉丘46期・記)

三馬一泉、新会長に長田さん(帰島)



31回目の三馬一泉同志会の総会・懇親会が7月4日、 金沢市野町4丁目の料理割烹「むとう」で開かれた。 出席者は10人と少なかったが、新たに泉丘37期の笹木 啓吾君が加わり、若い新会員を迎えてにぎやかな会と なった=写真=。

私・北島が司会、総会の役員改選で田中一郎会長(泉 丘8期) に代わって長田久さん(同9期) が新会長に 選ばれた。長田新会長は「小さくても地域から母校を 応援することに存在価値がある。努力して継続してい こう | と訴えた。

角信平さん(同5期)の乾杯の音頭で酒宴に入り、 旬の料理に舌つづみを打ちながら、いつものようにそ れぞれの時代の思い出話や地域の話題に花が咲き、楽 しいひとときを過ごした。 (北島敏男=泉丘8期)

亡き師、亡き友の冥福を祈る

令和元年度の一泉同窓会物故者慰霊祭が創立記念日 の10月15日午後、母校の巌霜碑前でしめやかに営まれ た。参列した同窓会役員や学校関係者、各期代表ら29 人が亡き師や級友らの冥福を祈った=写真=。

例年より1時間早い午後2時からの開催で、金沢一 中が本多町の石浦神社横にあった縁で同神社の長谷吉 慶宮司が祝詞を奏上、清水義博同窓会会長(泉丘22期) や母校の宮本雅春校長、今年度総会・懇親会を運営す

る連和彦 実行委員 長 (同38 期) らが 順に玉串 を捧げた。 また、初 めて生徒



会を代表して2年生の宗田小都華(ことか)さんが列 席、先輩たちの霊に頭を垂れた。



[アトリエ・直営店] 金沢市長町 1-4-55 せせらぎ通り 長町武家屋敷跡近く TEL 076-205-6202 http://gold-knot.com/

株式会社エイチツーオー 代表取締役 加茂谷 慎治(泉丘34期)

小西不動産鑑定所

不動産鑑定士 代表取締役 小西 均 (泉丘34期)

〒920-0051 金沢市二口町口17 戸板ホール2 F TEL(076)261-5385 FAX(076)261-7881 URL http://konisi-kantei.com/

一泉同窓会副会長 泉丘34期代表幹事

> 至極 明子

〒920-0017 金沢市諸江町下丁445-3 TEL&FAX (076) 239-1459 E-mail:iam459@mvg.biglobe.ne.jp

一中・泉丘 各期の集い①



◇一中56期・泉丘2期が米寿記念同窓会

一中56期・泉丘2期の同窓会「未申会」は令和元年5月20日の昼、米寿記念同窓会を思い出多い金沢市の料亭「鍔甚」で開催した。今年4月20日が長年お世話になった同期の鍔弘子さんの3回忌だったことから、1カ月遅れの命日のこの日と場所を設定した。時間も関東・関西・中京地区からも日帰りが可能な時間帯とした結果、金沢8人、関東3人、関西2人、中京・富山各1人の15人が出席して、和やかに感激の再会を喜び合った=写真=。

思えば昭和19年、太平洋戦争の激戦のさ中に入学、 20年、2年生で敗戦、米軍の占領下、貧困と混乱の中

関西一泉同窓会の片瀬貴文会長(一中55期)=写真=が米寿記念に『1961年のパリだより』をメディアイランドから発刊した。30歳で1年間単身フランス留学した時、家族に出した107通の手紙をまとめたもの。

また、ODAによるアフリカ最大の「マタディ

片瀬関西一泉会長が米寿 記念に海外奮闘記を出版



橋」建設のため、アフリカ・ザイールに赴任した 時の話をまとめた『鉄道マンのキンシャサ日記』 (1980年) も電子ブックとして同時出版された。

片瀬氏は一中、四髙、京大工学部卒。旧国鉄に入り、全国の新幹線の計画・設計・建設や海外活動、国鉄改革に携わった。

で多感な中学時代を過ごし、同23年、24年と2回の学制改革に翻弄される中での中等教育を受けた稀有な世代で、それだけに却って独特な強い絆で結ばれた仲間たちである。齢87歳、多くの仲間たちが他界して行く寂しさの中での再会である。

最初に亡くなった恩師・同期生を悼んで黙祷を捧げ、次いで一人ずつ簡単に自己の青少年時代・壮年期・近況を語り、印象に残る出来事を披露、ご馳走をいただきながら互いの来し方を偲び、歓談する懐かしい時間を過ごした。最後は卒寿の集いを開催しようと言う元気な声で打ち上げとなった。 (普神貴行・記)



◇泉丘7期が3回目の復活同窓会

一旦解散したものの寂しくて復活した泉丘7期の3回目の仲よし会同窓会が7月10日、粟津温泉「のとや」1泊で開かれ、集まった21人(男12人、女9人)が年齢合計の「1743歳頑張ろうかい」と名乗ってVサインで記念写真に納まり、友情を深め合った=写真=。

亡き級友に黙祷を捧げた後、代表幹事の私・加茂が「1年分の積もる話を肴に大いに飲んで楽しもう」とあいさつ、本間侑君の乾杯の音頭で酒宴となった。歓談の途中に関東代表の松本良雄君が6月8日に開いた関東7期会の様子や、会員の近況などを報告した。この後も高校時代の思い出話で盛り上がり、一次会だけで3時間を費やした。会場を変えての二次会は話とカラオケで更に2時間余を過ごした。

翌日もみんな別れ難く、金沢駅前の「ホテル金沢」 での昼食会にも15人が参加、「来年も元気で集まろう」 と約して午後2時過ぎ、名残を惜しんで散会した。

(加茂正則・記)

髙木法律事務所

弁護士 髙木 利定 (泉丘34期)

〒920-0912 金沢市大手町10-19 長岡ビル1F TEL(076)234-7117 FAX(076)234-7116

髙柳満税理士事務所

税理士 髙柳 満(泉丘34期)

〒920-0811 金沢市小坂町西77-4 TEL(076)251-3431 FAX(076)251-3809 E-mail info@takayanagi.zei-mu.com

家のことは、人のこと。

西内工務店株式会社

代表取締役 西内 一博(泉丘34期)

〒924-0023 白山市成町127番地 TEL(076)276-2457 FAX(076)276-2459 URL http://www.nishiuchi-k.co.jp

◇関東泉斤7期が年2回の集いを継続開催

関東泉丘7期は令和元年度も6月8日に前半の集いを、12月14日には後半の集いを東京・日本橋の「うすけぼー」で開いた。後半は14人が出席した=写真=。

わが同期会の歴史を振り返れば、昭和40年代初めの 大阪万博前夜に、大阪・御堂筋界隈に勤務していた同 期の仲間が、持ち回りで昼食会を開いたのが始まり。 同43年、期せずして主要メンバー3人が東京・丸の内 に転勤になったのを機に丸の内や大手町に集まった。 その様子が口コミで関東近辺の同期生に伝わり、次第 に規模が大きくなり関東7期同期会になった。以後、 年に数回の食事会から会社の寮利用の一泊同期会、ゴ ルフ大会もあり、女性や金沢からの参加者も増えてい る。通算の集まりは半世紀以上で100回を超える。

先の集いには女性も参加、いつものように近況報告 や思い出話に花を咲かせた。 (松本良雄・記)



◇恒例の関東八泉会(泉丘8期)に18名集う

毎年恒例の関東八泉会(泉丘8期)が4月4日、東京・市ヶ谷の「アルカディア市ヶ谷」7階「白山の間」で開かれた。昨年と同様、金沢から福田太睦八泉会代表幹事、兼田泉君、私・茶屋勝也の3名が出席、総勢18名が集まった=写真=。

幹事の荒木二夫のあいさつで始まり、福田代表幹事が金沢の八泉会や母校の様子などを報告、卒業以来初めて同窓会に参加した中野明彦君の乾杯の音頭で懇親の宴となった。司会進行は今年も鷲田巌君で、全員がスピーチして和気あいあいの2時間を過ごした。最後は水上征二君のハーモニカ伴奏で校歌を斉唱して締めくくった。

昨年と同様、会場の眼下に展開する外濠の満開桜を 眺めながらの楽しい酒宴だった。来年は4月2日の開 催と決まり、元気で再会することを約束して散会した。 (茶屋勝也・記)



◇関東泉寿会の総会と傘寿を祝う会に22人出席

泉丘10期の関東泉寿会総会と傘寿を祝う会が令和に替わった5月23日の午後、東京・JR四谷駅前の「主婦会館プラザエフ」で開かれた。金沢からの中山一郎本部会長ら6人を加え、22人が出席して2年ぶりの再会を楽しんだ=写真=。

関東泉寿会は2年前まで新年会を兼ね、1月の最終日曜日に同会館で開催していた。しかし、近年、冬場の集まりは風邪などで急に欠席する人が多くなり、暖かい季節への変更が望まれていた。そのため昨年は6月13日に福島県の「スパリゾーウトハワイアンズ」1泊としたが、今度は遠すぎて13人の出席に留まった。

会では関東の金子兵衛会長と中山本部会長があいさつ、今田隆君の乾杯の音頭ですぐににぎやかな酒宴となった。途中、恒例の森礼子さんの歌謡舞踊、白田良子さんの二胡演奏、豪華景品のビンゴゲームなどがあり、会場は大いににぎわった。校歌を斉唱してカラオケを取り入れた二次会に移り、夕方まで元気に旧交を温め合った。 (大谷孝弘・記)



♡ ぬりや歯科医院

歯学博士 涂谷 達 (泉丘34期)

〒920-8205 金沢市大友 2 -90 TEL&FAX(076)237-8841 www.nuriyashika.com



野村歯科医院

院長 野村 貴也 (泉丘34期)

〒920-0809 金沢市三池栄町301 TEL(076)255-2557 FAX(076)255-2558 E-mail:t.nomura-dc@gray.plala.or.jp http://www.nomura-dc.jp

H林建築設計工房

代 表

林 正人 (泉丘34期)

〒921-8171 石川県金沢市富樫2丁目1-27 TEL/FAX 076-242-0457 E-mail msshayashi@ybb.ne.jp URL http://www.harchitect.com



◇泉丘16期が「心友達の趣味の作品展」開く

泉丘16期の卒業55周年を記念した「心友達の趣味の作品展」が6月1日から15日まで金沢市俵町の茶房・ギャラリー「蛍|=同期の東節子さん経営=で開かれ、

同級・同窓生だけでなく多くの人たちが観賞に訪れて にぎわった**=写真=**。

昭和38年夏、泉丘4回目の甲子園に出場し、プロ(阪急ブレーブス)にもなった投手の山下莞爾さんが病気リハビリのため絵を描いているのを知った渡辺三弘さんが、山下さんの励みにと趣味の作品展を企画、同級生に呼びかけ、41人から70点余りの作品が集まった。

書、絵画、写真から陶芸、彫刻、組紐など目を見張るような作品が多く出展された。中でも橋爪信敏さんの仏像「阿弥陀如来立像」と「天燈鬼」は注目を集め、卯辰山の高校相撲第47回大会で個人優勝した同期の能上宏(旧姓水本)選手の土俵を立体的に再現した山本武生さんの「花の16期生応援団・相撲部の思い出」は、当時の感激を思い起こさすほどの出来栄えだった。



◇泉丘17期の同窓会に101名が出席

泉丘17期が『平成時代最後』と銘打った同窓会が4月24日、金沢駅前のANAクラウンプラザホテルで開かれた。古希の会以来4年ぶりで、北は宮城県から南は山口県までの県外勢34名を含め、101名が参加、にぎやかで思い出深い同窓会となった=写真①は31・32②は33~36③は37~312ホームの出席者=。

会は小杉誠一君と丸川(喜多)靖子さんの名コンビ司会で進められ、物故級友への黙祷に続いて代表幹事があいさつ、大森和子さんの乾杯発声で酒宴に入った。次いで関東17会の蚊戸憲行君、関西17会の串岡慶子さんからそれぞれの近況や予定について報告があり、恒例のビンゴゲームではホテル提供の特別賞をはじめ21名が賞品をゲット、会場は一段と盛り上がった。

全員で校歌を大合唱の後、松田豊君の中締めで一次会を終え、ほとんどが同ホテル内の二次会会場「カスケード」へ移動して、さらに旧交を温めた。午後10時半ごろ再会を約しての解散となった。

同日昼にはゴルフ愛好者による17G 会の30回目の大 会も行われた。 (嶋谷潤一郎・記)

◇関東泉丘17期同期会、今年は35名参加

毎年恒例の関東泉丘17期同期会は6月13日、昭和の香り漂う東京・日本橋の名店「たいめいけん」で開催された。金沢からの17期代表の嶋谷潤一郎君、村俊之君を加え35名が参加した=写真=。

会は2月に逝去された中村雅美君に黙祷を捧げ、次いで嶋谷君から4月24日に金沢で行われた17期同窓会の報告があり、その後、懇談の場となった。その中で近況の報有り、甲子園出場時の野球部の舞台裏話有りで大いに盛り上がった。また、ビンゴゲームなどで笑

いの溢れる会となった。最後に互いの友情と後輩への 熱きエールを込めて校歌を斉唱した。 (蚊戸憲行・記)



ばんどう内科・ 呼吸器クリニック

院 医学博士 坂東 琢磨 (泉丘34期)

〒924-0808 白山市布市 1 -113 TEL(076)277-6211 FAX(076)277-6631 https://www.bando-naika.com

フジイ内科クリニック

院 医学博士 藤井 浩之 (泉丘34期)

〒920-0376 金沢市福増町北1385-2 TEL(076)240-3666 FAX(076)240-3036 E-mail hujiinc@amber.plala.or.jp

株式会社 三浦商会

代表取締役 三浦 正勝 (泉丘34期)

〒622-0012 京都府南丹市園部町内林町京都新光悦村19

◇久しぶりの宿泊で21回目の「おはこ会」

泉丘18期・おはこ会の21回目の同窓会が令和元年5月19日、辰口温泉「まつさき」1泊で開催された。恩師の楠禎一郎先生にご臨席いただき、合計36人が出席した=写真=。

福田裕君の司会で、この1年間に亡くなった級友1 人に黙祷を捧げ、当番クラス代表幹事宮崎明君の格調 高い三味線とあいさつで幕が開き、楠先生の92歳とは 思えない元気な乾杯のご発声で宴会が始まった。

途中、寺中聰君がプロ並みの「詩吟」、東川政一君が素晴らしい「木遣り」を披露。関東、中部、関西からも7人の出席があり、宴席は終始盛り上がった。最後は全員で校歌を斉唱し、中締めの後、来年の幹事クラス・12ホームの6人に同窓会のバトンを引き継ぎ、会を締めくくった。

その後、別室での二次会でさらに交友を深め、ノドを枯らした後は幹事部屋での三次会へと続き、宿泊付きの特権で日付が変わるまで語り明かした。

(中島正明・記)



◇第9回関東おはこ会に37名集う

第9回関東おはこ会(泉丘18期)の総会・親睦会が 11月30日午後、東京・新宿の三平会館7階で開かれた。 関東圏外からの参加者もあり、総勢37名が集まって旧 交を温めた=写真右上=。

表明子さん、川合明子さんによる参加者のお出迎え、司会担当の田川久美さん、小関彩子さんの開会宣言を合図に、会長の長元正春君の挨拶、石川県からの参加者を代表し新村康二君の挨拶で総会が始まった。役員改選で長元会長の再選をはじめ全員の留任が決定。次



いで決算・予算報告並びに会計参加と続き、最後に令和2年の金沢のおはこ会総会担当の12Hを代表して、 金沢からはせ参じた入榮隆純君から開催要領案内と参加要請がなされた。

前回の総会以降2年間に他界された7名に対して黙 黙を捧げた後、新潟から初参加の芳井研一君の乾杯の 音頭で酒宴に入った。芸達者な余興を挟んで参加者全 員の近況報告があり、皆さん元気な様子がうかがえた。 集合写真撮って校歌斉唱、中村祐副会長の閉会の辞で 一次会を終えた。

引き続いて、同じ会場で二次会のカラオケ大会が行われ、参加者それぞれの自慢の持ち歌を熱唱し、終了予定時刻を大幅に超えてまで打ち続いた。最後に新村喜弘君による一本締めで第9回関東おはこ会が散会となり三々五々三次会へ別れた。 (原 俊道・記)



◇在京泉丘19期が2年ぶりに同期会

在京泉丘19期生の同期会が4月11日、東京・市ヶ谷の「うお多」で開かれた。一昨年3月以来2年ぶりの集まりで、男性17名、女性7名の24名が参加した。うち1人は金沢からの参加で盛会となった=写真上=。

古希だった昨年は残念ながら集まることができなかったので、今年はその分近況報告や思い出話に花が咲いた。 (山崎 喬・記)

医療法人社団 健水会

水口内科クリニック

理事長 水口 雅之 (泉丘34期)

〒920-8203 金沢市鞍月 5-219 TEL(076)255-3377 FAX(076)255-3388 https://www.mizuguchinaika.com/

(株) ヤスダエンタープライズ

情報通信システム コンサルタント・企画・施工・監修

代表取締役 安田 克芳(泉丘34期)

〒921-8178 金沢市寺地 1 - 2 -28 TEL(076)272-5272 FAX(076)203-0421 E-mail:yasuda.ep0320@gmail.com

山崎皮膚科医院

院長 山崎 真孝 (泉丘34期)

〒921-8041 金沢市泉 2 -31-1 (金沢高校通り) TEL(076)226-8808 〈往診可〉

「一泉行列」の歴史と意義

同窓生の行列への参加は平成17年ご ろから増え、現在は60~80人ほど =平成29年8月30日の行列

昨年の8月30日に予定されていた令和最初の「一泉行列」が雨のため中止になった。ブラスバンドの演奏に合わせて校歌や応援歌を歌い、後輩在校生と一緒に金沢市内を歩くのを楽しみにしていた OB たちからは、自然現象とは言え「2年連続の中止は残念で寂しい」との声が多く聴かれた。令和2年の行列は第72回創立記念祭の前日祭として8月29日(土曜日)に予定されている。晴天での実施を祈ると共に「一泉行列」の歴史と意義を探ってみた。



帽姿) =平成17年9月1日さん(一中5期・左端の野球常に先頭を歩いた故山本道生一中野球部のユニホーム姿で

▶ 弥生1丁目当たりを行く「一 場行列」。今は撤去された泉 が学校前の横断陸橋上から撮 を が生1丁目当たりを行く「一



今年の開催予定は8月29日

学校行事を綴った「渓泉第35号」の第41回創立記念祭(平成元年9月4日・月、5日・火、8日・金)の項に次のような文章が見られる。

大学入試のセンター試験対応などで年々開催が早ま る創立記念祭。今年は新学期早々の9月初旬に行われ

始まりは創立記念祭の 校外客への事前PRに

た。休日を挟んでいないので、校外からの来客減少が 予想され、事前 PR のため 9 月 3 日の日曜日に「一泉 行列」が計画された。行列は前から話が出ており、本 多町の旧一中跡を出発して片町、有松を経て泉丘高校 まで生徒の有志がパレードをする予定だった。しかし、 当日は朝からの雨模様が午後には豪雨となり、初の一 泉行列は取り止めとなった。実現していたら大きな宣 伝効果が得られることが予想されていただけに、中止 は非常に惜しまれた。

記念祭を盛り上げるために野外劇の扮装で金沢の中心街を歩こう一との企画案は前年の昭和63年に持ち上がった、と当時3年生だった中屋薫美さん(泉丘41期、司法書士)が語る。理由がわからないがこの年には実現しなかった。

第1回の「一泉行列」は平成2年9月1日(土)に 行われた。「溪泉第36号」によると午後3時に旧一ノ

蛇头目藉利亦该

店主 太田 裕之 (泉丘35期)

〒920-0918 金沢市片町1丁目1-12 TEL(076)231-0093 FAX(076)264-4188

デンタル・オフィス大森

院長 大森 久仁子 (泉丘35期)

〒920-8203 金沢市鞍月 5-181 AUBE 2 F TEL(076)238-4686 FAX(076)238-4737 http://www.d-o-omori.com/

HÓRITA 株式会社 堀 他

〒920-0025 金沢市駅西本町 2 - 3 - 1 TEL(076)221-0308 FAX(076)221-0130 https://horita1878.com ノ中跡の観光会館横(現金沢歌劇座)から出発、参加者は百人余り。応援団を先頭にブラスバンドが続き、3年生(泉丘43期生)の女子が浴衣姿、男子が他高校女子の制服姿で、ワニや魔女など様々な仮装もあった。一車線を借り切っての行列は香林坊、片町を通り1時間余りで学校に到着した。行列は十分に人目を集め、金沢市民に泉丘をアピールすることができた―とある。今日ほど交通量が多くなく、参加人数も少なかったので1時間ほどで終了できたのだろう。

「厳霜碑」運んだ道を歩く

本多町の一中跡地から広坂―香林坊―片町―野町広小路―有松を通るルートは昭和12年、金沢一中が本多町から現在地へ新築移転した際に一中のシンボル「厳霜碑」を大八車に積んで運んだ道筋であり、その道を辿ることでナンバースクールだった一中魂の泉丘への継承を強く意識し、文武両道に頑張る泉丘の姿を広く県民、市民にアピールすることを狙っている。

現在の行列参加者は在校生約260人、OB約60人か

今は一中魂の泉丘への 継続を強く意識する場

ら80人の合計320人から340の大行列だ。当初の OB 参加は10人ほど。一中50期の太田重雄さん(故人)は一中の帽子を冠り、同54期の山本道生さん(同)は野球部のユニホーム姿で常に先頭を歩いていたと伝わっている。 OB 参加者が増えたのは15年ほど前から。一泉同窓会の第6代会長・蚊谷八郎氏や役員が全行程を歩いてから、第一線を離れた OB たちが参加するようになった。

近年の行列は午前10時に金沢歌劇座前で出発式を行い、正午前に母校に着く。沿道の OB から拍手や励ましの言葉が送られ、すっかり市民権を得ている。これまで病院経営の川北篤さん(一中55期、故人)、哲さん(泉丘29期)親子から OB に対してお茶の差し入れがあったり、フラワーガーデン経営の松下良さん(一中53期)から生徒会の女子役員に生花リースが贈られるなど盛り上がりが強くなっている。

自店前で生徒会代表の女性に花束を贈る松下良さん(一中53 期)=平成21年8月28日



「一泉行列」の効果について常連参加者の一人、福田太睦さん(泉丘8期)は、テーマの『一中魂の泉丘魂への継承』が確実に実を結んでいると言う。東大をはじめ難関大学の合格者増、高校総体の県立ナンバーワン(総合4位)など、昔の金沢一中に負けない成績を収める後輩たちを誇りに思う。一緒に歩くことで母校を応援しょうとの思いも強まる、と語り、村田紀代司さん(同10期)も、現役生たちと一緒に校歌や応援歌を歌って歩いていると胸が熱くなる。一泉同窓生で良かったと思い、元気をいただいていると言う。また、10月15日の創立記念日の夜に開かれる一泉同窓会を運営する幹事期も近年は5、6人がプラカードを持って参加、1000人規模の大同窓会の事前 PR の機会としている。

一泉同窓会事務局では今年も多くの同窓生の元気な 参加を望んでいる。

注=写真は全部、茶屋勝也さん(泉丘8期)の撮影



冠り物の山本武生さんと応援団長姿の広瀬靖久さんの泉丘16 期コンビ=平成28年8月28日

科学ジャーナリスト

喜多 充成 (泉丘35期)

〒152-0034 東京都目黒区緑が丘 2-4-1-401 TEL 090-3232-4080

E-mail: kita.mitsunari@nifty.com

木村紀代税理士事務所

税理士 薬剤師 木村 紀代 (泉丘35期)

〒924-0836 石川県白山市山島台 4-47 TEL(076)274-2129 FAX(076)287-0155 http://kimuranoriyo-office.tkcnf.com/

《S》株式会社 炭澤鉄工

代表取締役 炭澤 吉治 (泉丘35期)

〒920-0343 金沢市畝田中 2-7 TEL(076)268-2711 FAX(076)267-0597 E-mail:sumizawatekkou@woody.ocn.ne.jp

一中・泉丘 各期の集い②

◇泉丘24期が連続14回目のお盆同窓会開く

泉丘24期恒例のお盆同窓会が8月11日、金沢市北安



散、例年の3分の1の10人しか集まらなかったが**=写** 真**=**、2年後の卒業50周年には大同窓会を開催しよう と気勢を揚げた。

24期は平成17年に一泉同窓会総会・懇親会の運営幹事を務めたのを機に、翌18年から毎年お盆同窓会を開催しており、今年で14回目。3年前の11回目は「卒業45周年記念」と銘打って約90人が集まった。

同窓会開催日には金沢リンクスでお盆ゴルフコンペ を行うのも恒例になっており、今年は13人が参加して 親交を深めた。 (川原利治・記)



◇泉丘30期の泉心会が還暦同窓会

泉丘30期泉心会は10月13日、片山津温泉のホテル森本で70名が出席して還暦同窓会を開いた=写真=。

黒保正幸君の司会で12名の物故級友に黙祷を捧げ、今期から会長になった私・横田が開会宣言、藤田繁人副会長の乾杯で宴会が始まった。大盛り上がりの中、北川秀二君(関東一泉同窓会会長)が関東の活動状況を紹介し、クラスごとの近況報告と続いて、鳥越伸博君の三本締めで中締めとした。

場所を変えての二次会も有志提供の銘酒・珍味を片 手に歓談が続き、校歌斉唱でお開きとしたが、大方の 人は部屋に戻ってからも延々と話し込んでいた。次回 は古希を待たずに5年後に「還暦・古希の中間記念温 泉同窓会」を開こうと、もう考えている。

翌14日は那谷寺カントリー倶楽部で女性1名を含む19名(地元14名、関東方面5名)が参加して泉心会の還暦ゴルフコンペが開かれた。二日酔いと雨と言う過酷な条件での7時間で、好プレーに拍手、珍プレーに大笑いするなど大盛況で、中川敏之君が優勝した。

(横田雅裕・記)



◇泉丘31期が卒業40周年を2会場で祝う

泉丘31期の卒業40周年記念同窓会が8月12日、懐か しの泉丘高校校舎(一次会)とホテル日航金沢(二次 会)で開かれ、総勢80人の参加者が久方ぶりの再会を 喜び合った=写真=。

同日午後から母校・2階の大会議室で開催された一次会は、物故同級生・恩師を写真で偲んだあと、卒業時のクラスごとに登壇して近況を報告、次いで7年前の平成24年の一泉同窓会総会運営幹事の時に結成した「一泉エンジェル」のハンドベル演奏を楽しんだ。

二次会は夕方から会場をホテル日航金沢に移して開かれた。下沢佳充君の乾杯の音頭で幕開け、清水義博一泉同窓会会長に31期からの寄付金を贈呈してお礼の言葉をいただいた。懇親の宴では卒業アルバムから拾った写真が投影され、各部活動に関するコメント交換などで高校時代を回顧して旧交を温めた。

最後は応援団のエールで応援歌、校歌を斉唱、粟貴章君の閉会の辞でお開きとなったが、来年の東京オリンピック関連企画(東京)、2021年の還暦を祝う企画(全体)での再会を誓い合った。 (村上 覚・記)



理事長 瀬川 要司 (泉丘35期

〒920-0341 金沢市寺中町ホ61番地9 TEL(076)266-2222



代表取締役 多賀 直昭 (泉丘35期)

〒920-0025 金沢市駅西本町 1-14-29 TEL(076)223-6556(代表) FAX(076)223-6537



総合食品·寿司材料 株式 /5/

代表取締役 寺西 一竜 (泉丘35期)

本社 〒921-8023 金沢市千日町 2-18 TEL(076)241-7417代 FAX(076)247-6282

◇泉斤36期が66名集まって楽しい同窓会

幹事を担った平成29年10月実施の一泉同窓会総会・ 懇親会から早2年。「そろそろ集まろう」と、令和最 初の泉丘36期同窓会が8月11日、ホテル金沢で開かれ た。

66名が集まり、36期事務局の冨田孝光君より「気持 ちを高校時代に戻して語ろう!36期で令和最初の楽し い時間を過ごそう! | との発声で乾杯した。話が盛り 上がる中、2年前に結成された我らがウクレレ隊「36 期'S(サンジュウロッキーズ)|の伴奏で=写真中=、 釣見和正君(高校時代組んでいたバンド BPM ボーカ ル)による「青い珊瑚礁」、あこがれかつ人気どころ



の北中祐美・野村いずみ・山下勢津子さんによる「渚 のシンドバッド(振り付け100点)|、澁谷英利君と私 ・岡橋によるなかなか終わらない「勝手にシンドバッ ドーが熱唱された。

気がつくと「令和」が私たちの高校時代の「昭和」 に戻っていた。楽しい「昭和」のひとときはあっとい う間に終わり、最後は澁谷君による「10月の一泉同窓 会でまた会おう。そして令和5年は母校の創立130周 年だ!」で会は締められた。 (岡橋勇侍・記)

◇泉斤37期同窓会で幹事期の思い出に花咲く

泉丘37期の同窓会が8月17日の夜、金沢市広 岡町のレストラン「ドクターズクリエーション cafe87 で開かれた。お盆休みを利用して関東、 関西からの出席者もあり30人の集まりとなった =写真右上=。

そろそろ自身の健康も気になる世代だが、栄 養士監修の美味しく健康的なメニューで楽しく 歓談した。大変だった一泉同窓会の総会・懇親 会の運営幹事を前年に無事終えてますます絆が



永嶋 清和 (泉丘35期) 取締役社長 中田 二郎(泉丘35期)

> 〒921-8054 金沢市西金沢 3 丁目124番地 TEL(076)249-1111(代) FAX(076)249-8446



深まり、思い出話も高校時代に加え総会準備の集まり も交じって一段と盛り上がり、楽しいひとときとなっ (多田裕子・記)

◆泉丘40期が一泉総会運営へ団結強める

泉丘40期の同窓会が令和2年1月2日午後、金沢駅 前のANA クラウンプラザホテル金沢で開かれた。中 山一郎一泉同窓会事務局顧問と中村孝治泉丘39期代表 幹事を来賓に迎え、総勢80名が出席して旧交を温める と同時に、一年後に迫った一泉同窓会総会・懇親会の 運営幹事期のために絆と団結を強めた=写真下=。

柄田秀樹君と眞鍋知子さんが司会を務めて物故級友 に黙祷を捧げ、次いで40期代表幹事の私・中佐があい さつして開会、関東40期幹事の坂次哲也君の乾杯の音 頭で酒宴となった。

楽しい歓談が続いた後、宮本聰副代表から一泉同窓 会運営実行委員会の主要メンバーが紹介されて壇上に 並び、楽しく思い出に残る一泉同窓会の演出を誓い合 った。最後に校歌を高らかに歌い、熊野盛夫君の中締 めで一次会を終えた。

会場を替えた二次会、三次会でも思い出話の輪が広 がった。 (中佐訓康・記)



宗教法人 恵みバプテスト教会

牧師 中出 雄三 (泉丘35期)

〒939-8073 富山市大町240番地 TEL (076) 425-6861 http://megumi-bpt.jp

KNBラジオ『聖書の話』 738kHz 日曜午前6:45-7:00

〒924-0024 石川県白山市北安田町972-1 TEL(076)275-1115 FAX(076)275-1028

内科・胃腸科・外科

文化・運動部 OB 会だより

「泉泳会七士会」が湯涌に集う

平成も終わりに近い4月24日、泉丘水泳部 OB・OG 会の7期から11期までの会「泉泳会七士会」が湯涌温泉の「やました」1泊で開かれた。大阪から駆け付けた8期の私・山口をはじめ9人が出席した=写真=。



男性陣はみんな車で来ており「まだまだ運転する ぞ」と意気軒高。もちろん「細心の注意を払って」と の条件付き。飲むほどに酔うほどにいつものように思 い出話に花が咲き、みんな元気はつらつだった。

(山口煦子=泉丘8期・記)

新聞部 OB 会発足へ準備会

泉丘高校新聞部の OB・OG 会を発足させるための準備会が平成31年4月27日、金沢21世紀美術館の Fusion 21で開かれ、令和2年度中に大同窓会を開催することになった。



準備会は泉丘28期から35期までの約50人の部員に呼びかけたが、時間不足や当日がゴールデンウイークの初日とあって9人しか出席出来なかった=写真=。しかし、大部分が新聞部同窓会の発足に賛成を伝えてき

ており、暫定会長に28期の藤井直樹さん、同顧問に29 期の谷口豊泉丘高校教諭・学校新聞部顧問を選出、会 の名も「いずみの原の会」と決めた。

今後、開催日や会場を決め、泉丘1期から令和2年卒業の72期生までに参加を呼びかけ、新聞部大OB・OG会を成功させる予定。(石田文一=泉丘33期・記)

卓球部 OB 会が初の懇親会

盛夏の8月10日午後、泉丘卓球部 OB 会の35期・36期・37期の14名が母校の卓球場に集まり、2時間ほど交流試合を行っていい汗を流した。現役実業団プレイヤーからラケットを握るのは高校卒業以来という人まで様々で、楽しくダブルスリーグ戦を行った。

また、同日夜には会場を金沢市の片町に替えて懇親会を開いた=写真=。卓球部 OB 会としては初めての集いで、次回はもっと多くの OB に声をかけ、会を広げていくことになった。(多田裕子=泉丘37期・記)



藤沢市在住の泉丘17期、高橋孝夫さん(一泉桜美会会員)が令和元年11月 26日から12月1日まで、東京都美術館で開かれた 第60回日本版画会展に出品した猫の作品「烏兎惣

高橋さん(編)に東京都知事賞

惣」が見事に東京都知事賞 を獲得した**=写真=**。

文部科学大臣賞、日本版 画会賞に次ぐ賞で、会員で ない高橋さんは一般枠で応 募して上位入賞の快挙を成 し遂げた。



代表取締役 中村 太郎(副会長)

本社 〒920-0867 石川県金沢市長土塀 3 丁目 2 番15号 TEL (076) 248-2435 FAX (076) 248-2436

FUJI Xerox 🕥 富士ゼロックス北陸 株式会社

代表取締役 渕卜 司朗 (泉丘35期)

〒920-8501 金沢市中橋町11-18 TEL(076)260-0900 FAX(076)260-0901



代表取締役 堀 光治 (泉丘35期)

〒923-1245 石川県能美市辰口町175 TEL(0761)51-0144 FAX(0761)51-6146 URL: https://www.happy-aday.com



野球部 OB 会が22回目の総会

一泉野球部 OB 会第22回総会が 8月3日、金沢東急ホテルで会員32名が出席して開かれた=写真=。総会では谷端時宗さん(泉丘43期)から平成30年度の事業・決算報告、令和元年度の事業計画・予算説明があり了承された。高田直人会長(同28期)はあいさつで、現役部員たちの今夏の健闘や来年以降も夏を盛り上げてくれることへの期待を述べた。

懇親会では来賓に宮本雅春校長、寺口結野球部監督、道下一哉野球部部長を迎え、宮本校長から祝辞、寺口監督から野球部の近況報告をいただき、山崎昭一郎さん(同4期)の発声で乾杯して酒宴に入った。途中、下崎研吾さん(同57期)から金沢地区高校野球 OB 戦での5年ぶりの勝利報告があった。最後に結城一隆さん(同42期)が音頭を取って押田邦夫元監督(同11期)をはじめ全員で校歌を斉唱し、現役野球部への支援を誓って一双貞行副会長(同29期)の閉会あいさつで散会した。 (土倉拓樹=泉丘45期・記)

金沢市文化ホールで桜美会展

旧制金沢一中と新制金沢泉丘高校卒業生の美の同窓会「第47回一泉桜美会美術展」が10月29日から11月3日まで、金沢市高岡町の市文化ホール展示ギャラリーで開かれた。例年会場の金沢21世紀美術館がリニューアル工事で休館となったための変更で、初めての会場にもかかわらず同窓生や現役生に加え、多くの市民も鑑賞に訪れて連日にぎわった=写真=。

今回は会員42人が55点の作品を出展、現役生も美術部9人、書道部、写真部各3人の15人が15作品を出して会場に花を添えた。会員作品は書、刻字、油絵、日

トピックス 一中36期の直木賞作家・杉森久英氏 (1912~97年)を顕彰する杉森久英記 念文庫活用研究会 (小林良子会長・七尾市)は、同氏の活動を紹介する「すぎもり通信」(A4判10頁)を令和元年7月に発刊した。同誌の3、4頁には「一泉」46号に掲載した「一中時代の杉森久英さん」と、同氏が一中3年次に校友会誌第106号に投稿した『金澤市祭』が転載(許可済み)された

これを読んだ金沢学院大学の水洞幸夫文学部長

七尾市の「すぎもり通信」 「一中時代の杉森さん」を転載

は、少し斜に構えた文学者的視点が垣間見える―と感想を寄せている。「市祭」を優等生的に書くなら、利家の偉業をうたい上げ、雨にもかかわらず盛り上がる行列の様子や花火の豪華さを描き、市の繁栄を祈り自らの精進を誓う―と言うようなものになりがちだが、杉森さんは期待した祭が雨で台無しになった一日を描き、行列についても雨に濡れた情けない有様をクローズアップ、その一方で祭が気になって勉強に集中できない葛藤を書いているところなどは文学的と評している。



本画、水彩画、水墨画からちぎり絵、陶器、押し花と 多岐にわたっているが、写真が18点と3分の1を占め た。

変わったところでは初出展の泉丘16期・広瀬靖久さんのイラスト「プライベイト CD ジャケット&プロモーション」が人目を引いていた。

公認会計士

月細 実 (泉丘35期)

〒532-0026 大阪市淀川区塚本 2-20-1-504

医療法人社団 矢ヶ崎外科医院

理事長 院 長 矢ヶ崎 売 (泉丘35期)

〒924-0804 石川県白山市徳丸町597 TEL(076)275-5166 FAX(076)274-2201

米島内科医院

院長 米島 博嗣 (泉丘35期)

〒920-0831 金沢市東山2丁目16-3 TEL(076)252-5478 FAX(076)252-5225 E-mail:h.yonejima@toyama.nsk.ne.jp

投稿二題

平成から令和へと時代の変わり目となった昨年は、 私にとっても激動の、そして新しい舞台の幕が上がっ た記念すべき1年となりました。

昨年2月、金沢市の尾山町に「ごはん屋はな」とい う小さいながらも自分で作り上げた家庭料理のお店を オープンいたしました。「やっとたどり着いた|万感 の思いの中でのスタートでした。ここに至るまでは決 して平たんな道でなく、その途中では目標や夢に思い

が至らないほどただ必死に歩い てきた気がします。

泉丘高校から金沢大学へ、ま

泉丘33期 田代 英子 だバブルという言葉もなくただ明るく華やかな世 相の中で学生時代を過ごし、その後結婚を機に静 岡県浜松に移り住みました。嫁いだ先は不動産業 のはずが、さて激動の始まりです。大勢のブラジ ル人が来日し住み始めた浜松で、ブラジル料理店を開 くことになったのです。数年はブームに乗って連日行 列ができ3店舗を構えるに至りましたが、時代は平成 不況へ、同業店も乱立し厳しい状況へ突入し、事業の 先行きに腐心している中で、平成17年、主人が急逝い たしました。

そんなこんなで同級生との交流も途絶えていたので

私は泉丘15期生で野球部員だった。昭和37年春の北 信越大会で優勝し、夏の甲子園大会予選は大本命だっ たが、決勝で金沢高校に逆転負けした。しかし翌年、 16期の後輩たちが見事甲子園に出場した。母校野球部 の最後の最強時代に在籍したことは私の誇りである。

あれから56年。昨秋、私はもう一つの大きな誇りを 得た。家にあった114年前の古い1枚の写真の力で、 日ロ間の民間レベルの国際交流を成功させたのである。

私の家は明治37(1904)年創業の金沢写真院だが、 その年に日露戦争が勃発、翌年には負けたロシア兵の

7万人以上が捕虜となって日本 の各地に送られ、金沢にも6000 人が収容された。私が小さい時

民間の国際交流成功に誇り

夢の「ごはん屋はな」を開店

泉丘15期 草野 輝久

から気にしていた写真は、初代が同38年に寺町3 丁目の高岸寺で写したロシア・バルチック艦隊巡 洋艦乗船の海軍将校の姿だった。

写真の将校さんの名が分かれば、その子孫を金 沢に呼べるのではなかろうか。私の想いは膨らむ一方 で、図書館に通い明治38年6月25日付北國新聞から兵 士の名簿を見つけた。石川県ロシア協会、新潟市のロ シア連邦総領事館を数回訪れて相談、夏には16人の身 元が判明、うち3人の遺族と連絡を取ることができた。

インターネット時代のお蔭でもある。SNS、フェー スブックなどで「海軍将校の遺族を探しています」と すが、そこに1枚のはがきが届きます。一泉同窓会の 幹事年に参加を募る案内でした。不安を抱えながら卒 業以来数十年ぶりの同窓会へ。そこには多くを語らな くても心の通じ合う優しい友が待っていてくれました。 その翌年、父が脳梗塞で倒れ私は迷う間もなく金沢 に戻ると、まもなく母も認知症で施設に入り、倒れた 父も亡くなりました。気が付けば、初めて一人で暮ら

すこととなりました。すると、あんなに好きだった料 理をほとんどしなくなっていました。お料理は食べて くれる人がいてこそなんだな、そんな思いが募りなが

> らも踏み出せないまま数年が過 ぎ、そしてさらに思いは募り、 封印できなくなったころ、偶然

にこの店に出会ったのでした。

ここでごはん屋さんをやりたい!その思いに至 った後はあっという間。沢山の方にお力添えをい ただき3か月余りでオープンまでこぎつけました。 その後の日々は、この店でいろんなご縁が生まれ深 まり広がり、修行の場であり至福の時間であり、とて も言い尽くせません。ここに至るまで厳しい道ではあ りましたが、今思えばすべてがここに続く道だった気 がします。たどり着いたこの場所で、心を込めてお料 理を作ってまいります。

最後に、関わったすべての方に心から感謝を。

投稿二題

ロシア全土に発信した結果が実を結んだのだった。

令和元年10月3日、私は金沢駅に2人のロシア海軍 将校のひ孫を迎えた。サンクトペテルブルグ在住のエ レナ・ポリャンスカヤさん (62) とモスクワ在住のア ンナ・バルミンツェワさん(50)だ。翌4日には2人 に新潟のロシア総領事などを交えて「日露友好の奇 跡 | と題する講演会とシンポジウムを開いた。

今回は多くの組織と人々の協力を得たが、元をただ

せば明治の日本の捕虜に対する 待遇が良く、彼女らの曽祖父も 半年いた金沢の好印象を家族に

聞かせていたのだと思う。だからひ孫たちも金沢 を訪れてみたかったのだろうと私は推測する。ひ 孫らは4日間の金沢滞在で金沢観光を満喫、曽祖 父が生活した高岸寺にも足を運んだ。そして私は

5月、サンクトペテルブルグに招かれ、訪問する予定だ。 戦後75年。日本とロシアの間にはまだまだ解決でき ない問題が沢山ある。なのに、こんなに簡単にロシア 人を迎え、仲良くできたことに驚いている。その始ま りが私どもの初代が残した1枚の写真である。何年経 っても真実を伝えてくれる写真の力と、自分で成し遂 げた市民レベルの国際交流の成功を改めて誇りに思う。

OB 講演会から

12人の先輩招き進路を学ぶ 2年生の「社会人と語る会」

令和元年度の「社会人と語る会」が11月2日、泉丘 高校で開かれた。2年生400人を対象にしたこの催し は、各界で活躍する先輩を母校に招いて話を聞き、進

路選びの参考にするもので、今年も一 泉同窓会事務局が協力して呼びかけた 同窓生12人が母校に参集、講師を務め た。この日は学校開放デーで一部保護 者も一緒に話を聞いた。

「語る会」は午後の5、6、7限を 利用、2度にわたって行われたので、 生徒たちは第一志望と第二志望の分野 の話を聞いて参考にした。

教壇に立った先輩講師はまず自分の 仕事内容や苦労、喜びについてパワー ポイントを使って分かり易く紹介、さ らに生徒たちに考えてほしいことを 「問い」として投げかけた。これに対 し生徒たちはグループで話し合い、全 体で問題と答えを共有して代表が発表 した。また、講師から高校2年生の今 何をしなければならないかについても 話があり、社会に出て働くことの意義 を知り、社会に貢献する志を学んだだ けでなく、そのための勉強の仕方、大 学・学部の選び方にも触れる有意義な 機会となった。

講師を引き受けたのは次の皆さん。

◆ 〈公務員·文系〉金融庁監督局証 券課資産運用室長の澤飯敦さん(42) 期) ◆〈公務員・理系〉農林水産省生 産局技術普及課長の今野聡さん(40 期) ◆ 〈法律関係〉菊池法律事務所· 弁護士の菊池麻由子さん(48期)◆〈国 際関係〉三菱商事㈱石油・化学グルー プ執行役員石油本部長の羽場広樹さん





さん













(34期) ◆ 〈ビジネスⅠ〉坂上裕官税 理士事務所・税理士の坂上裕宣さん (37期) ◆〈ビジネスⅡ〉トヨタ自動 車㈱第1国内販売部長の浦出高史さん (35期) ◆〈ビジネスⅢ〉文筆業(脚 本家)の中川千英子さん(41期)◆〈医 療関係 I 〉津山クリニック院長の津山 博さん(37期)◆〈医療関係Ⅱ〉しい の木薬局薬剤師の安藤京子さん(38期) ◆〈機械・電子・電子系〉日産自動車

内外装設計部の遠藤潔さん(39期)◆ 〈建設・土木関係〉国際航業㈱防災環 境事業部防災情報グループ長の野村出 さん (38期) ◆ 〈化学・コンピュータ -関係〉楽天投信投資顧問(株)第二運用 部長の杉山直哉さん(37期)の12人。



安藤京子さん

遠藤



野村



杉山直哉

後日、「進路選びに大変役立った」とする生徒の感 想文が各講師に送られ、講師陣からも「久しぶりの母 校訪問も後輩たちとの語らいも共に楽しかった。後輩 たちの成長を期待する | などとの礼状が多く届いた。

大学の魅力や勉強の仕方学ぶ 1年生は14人の難関大生から

また、1年生(10クラス、400人)対象の「難関大 学進学卒業生と語る会|も同じ2日午後に行われた。 東大、京大などに進学した卒業生14人が来校、各クラ スで2、3回登壇、それぞれの大学の魅力や学問の面 白さ、高校時代の勉強の仕方などについて語った。

大学生講師は次の皆さん。

◆東京大学 中垣将也さん (文科三類、4年)、永 野凱路さん(文科一類、3年)、池田光一さん(理科 一類、4年)、渡邉孝明さん(理科一類、3年)◆京 都大学 高木博登さん (文・人文、3年)、松本莉穂 さん (法、3年)、千葉竜涼さん (工・物理工、4年)、 諸野雅さん(工、3年)◆大阪大学 大谷一樹さん(人 間科学、4年)◆神戸大学 市来麻子さん(法・法律、 4年) ◆名古屋大学 玉田雄大さん(医、4年) ◆広 島大学 羽場加奈絵さん(薬、4年)◆金沢大学 二 木あずみさん (医薬保健・医、4年)、光田博一さん (医薬保健・医、3年)

一泉同窓会の総会・懇親会に参加しましょう!





◇第40回関西一泉同窓会

新型コロナウイルス対応のため中止(令和2年6月13日の開催予定)

◇創立127周年一泉同窓会

令和2年10月15日(木)18:00~ ホテル金沢 2F

会費1万円

会費1万円

◇第62回関東一泉同窓会

令和 2 年10月24日(土)17:00~ ハイアットリージェンシー東京 B1F

泉丘35期同窓会事務局 — 泉同窓会内 (TEL076-242-0211)

おめでとう

令和元年度一泉賞 2団体、2個人に贈呈



松本琉太君



堀中葵寛君ハーサイエンス部





袖 元継君

令和元年度の「一泉賞」が3月3日の全日制卒業式 の席上、清水義博一泉同窓会会長から2団体と2個人 に贈呈(賞状とトロフィー、副賞の図書カード1万円 分) された。同賞は平成6年に創立100周年記念事業 の一つとして設けられた。学業と課外活動を両立させ た生徒に贈られる。今年度の受賞者は次の皆さん。

- ◆新聞部 松本琉太君が代表の新聞部は、平成30年 度第22回全国高校新聞年間紙面審査賞で最優秀賞(第 1位相当)に輝いたほか、平成27年度から5年連続で 石川県高等学校新聞コンクールで最優秀賞を受賞、石 川県を牽引する立場となっている。また、年間発行の 面数を昨年よりさらに増やし、速報版発行も増加させ、 速報版は4年間で70号に及んだ。
- **◆スーパーサイエンス部** 堀中葵寛君が代表のスー パーサイエンス部は、平成30年度第8回科学の甲子園 全国大会で総合成績第9位のポーライト賞を受賞した。

同大会は過去最高の全国709校から9075人がエント リーして科学に関する知識と活用力を競い合った。同 部は実技競技でも優れた設計・デザインを開発した優 秀校として、企業特別賞(学研賞)を受賞した。

- ◆松本 悠汰君 1年次に HP PROJECTV MARS-EDUCATION LEAGUE JP 第1フェーズ第3位(高校 生最上位)、2年時にも同大会ファイナルステージ MVP、3年次には第15回全国物理コンテスト「物理 チャレンジ2019 | 優良賞受賞と、3年間で多様な分野 の全国的な場で活躍、優秀な成績を収めた。
- ◆袖 元継君 文芸部で活躍する袖君は、2年時に 石川県高等学校文化連盟文芸専門部主催の「文芸作品 コンクール | の散文(小説)部門で顕著な成果を収め た。その結果、3年次で佐賀県で開かれた第43回全国 高等学校総合文化祭の散文部門に推薦されて参加、そ の参加作品が高く評価され全国5位に入賞した。

母校だより

ブロードウェイ女優の由水さん(泉丘) 後輩たちに勇気与える講演

高校卒業後に渡米して、ニューヨーク・ブロードウ ェイのミュージカル女優として活躍する金沢市出身の 由水南さん(泉丘54期)が10月24日午後、久々に帰国 したのを機に母校を訪れて講演、約60人の後輩たちを 前に「You are Unlimited! 可能性は無限大」と題し て日本語と英語で熱く語った=写真=。

由水さんは泉丘在学中に全国英語スピーチコンテス トで優勝し、高校生離れした演技力を持つコミュニケ ーションの天才という伝説を残した。今回は「ザ・ラ イオン・キング |を観てミュージカルの世界に憧れ、 その舞台に立つまでの苦労や努力を4つのキーワード で説明した。

その一つ目が「The Sky Is The Limit=可能性は無限

大」。二つ目 が「It's Up To You=あな た次第 | であ り「人のせい にしては駄 目」と説明し た。三つ目は Step Out Of Your Comfort Zone=あなた の領域から踏



み出せ」として「殻を破って実行することが大切」と いい、最後の言葉は「Heart Connection=心とコネク ション | だとして「自分がいいなと思うことに向かっ て前進せよ」と諭した。この4つを実行すれば「必ず 夢はかなえられる | と語り、「大きな夢を持とう | と 後輩たちに勇気を与えた。

同窓会幹事代行承ります。

TEL 0120-953-070

受付時間 月~金 9:30~12:00/13:00~17:00

同窓会のトータルプロデュース企業

株式会社 サラト





標準橋本確文堂

橋 取締役会長 本勝郎 (泉丘12期)

金沢本社 〒921-8025 石川県金沢市増泉 4-10-10 TEL: (076)242-6121 FAX: (076)243-7945 東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-18-12 TEL: (03)5472-7030 FAX: (03)5472-5101

www.mba.co.jp

書名	著 者	購入・寄贈者
海外旅行記 未知なる国々にあこがれて(上)(下)	林 信子(泉丘12期)	寄贈・林 信子(泉丘12期)
聖興寺略史	浅香年木(元泉丘高校教諭)	寄贈・中野興真(素・泉丘25期)
とうのみね	紺谷 猛(泉丘4期)	寄贈·紺谷 猛(泉丘4期)
歌集 長屋門	高橋協子(泉丘8期)	寄贈・高橋協子(泉丘8期)
文芸能美 第14号	能美市文化協会	寄贈·徳山清美(泉丘10期)
インディペンデンスオブジャパン	峯岸竜三(本名=湯浅隆夫・泉丘通信 3期)	寄贈・湯浅隆夫(泉丘通信3期)
埋もれたキリスト者の生涯と思想 増野悦興(金沢一中 教諭心得)研究	滝澤民夫	寄贈・滝澤民夫
単身赴任 残された家族の14年	中山登紀子(泉丘4期)	寄贈・中山登紀子(泉丘4期)
泡沫(うたかた)北陸の原風景―自分が零に還る場所	吉田和弘(泉丘22期)	寄贈·吉田和弘(泉丘22期
竹林みどり滴りて―十一屋小卒業後70年記念の自分史	竹林みどり会(泉丘8期・荒木二夫ら 10人ほか)	寄贈・竹林みどり会
道ひとすじに 僧職人生、喜寿を顧みて	春秋 賛 (泉丘12期)	購入

下ピックス 平成31年度の1月以降に泉丘高校など県立4校で相次いで見つかった人骨とみられる14点の標本について、石川県教委は令和元年11月までに火葬の上、墓地に埋葬したと発表した。

泉丘から見つかったのは全身骨格の標本1体と

泉丘の人骨標本は本物 ^{県教委} 茶毘に付して埋葬

頭蓋骨1つで、生物資料保管室のガラスケースに入っていた。県警の鑑定ではすべて本物の人骨と判明したが、標本としても古く、事件性もないとされたため、県教委は金沢市の協力を経て9月末から10月にかけて順次荼毘に付し、野田山墓地に埋葬した。

台北・建國中の理数科生が来校 研究発表通じて親睦深める

台北市立建國高級中学校の林信安理数科主任と同科 生徒ら33人が4月22日、泉丘高校を訪れて、英語によ る研究発表を通じて親睦を深め合った。両校の交流は 平成21年秋に泉丘が修学旅行で訪台した際に建國中を 訪れたのが始まりで、今年は10年目。建國中の泉丘へ の来校は同25年からで今回で5回目。この間、27年4



AN **IHG**® HOTEL KANAZAWA

ANAクラウンプラザホテル金沢



すべてに感謝、 そしてその先へ。





月には泉丘で姉妹校協定の調印が行われた。

この日の午前、バスで到着した建國中の一行を迎えて2階大会議室で歓迎会が開かれた。まず宮本雅春校長が歓迎のあいさつの中で両校の交流が10年目に入ったことに触れ「生徒たちは国内では得られない体験を学んでおり、感謝に堪えない」と述べ、林主任も「友情の深まりの中での勉学は素晴らしい」と返礼、贈り物を交換した。両校の生徒代表もスピーチ、記念写真を撮って歓迎会を終えた=写真=。

泉丘の食堂での昼食後は「しいの木迎賓館」の文化 交流館へ移動、泉丘の SSH 2、3年生80人も加わり、 研究発表会を行った。泉丘生は蚕の糸の強度を調べた 結果や、津波の勢いを軽減する防波堤の開発などを発 表した。建國中生はトマトのリコピンを効率よく摂取 するための保存法や調理法を紹介した。

終了後、建國中生らは次の宿泊地の福井へ向い、泉 丘生らは秋の再会を約束して見送った。



活躍する後輩たち

東大に15人、京大に18人合格(流年度)

東大、京大など国公立大学の令和元年度入試前期合格者が3月10日までに発表され、母校・泉丘高校から東大に15人(現役10人)、京大に18人(同13人)が合格した。東大の合格者数15人は過去4番目に多く、現役合格者のうち1人は推薦入試による合格である。

東大と京大の難関2大学の合格者数を他高校と比べてみると、石川県内では今年度も金大附属(東大10人、京大5人)、小松(東大3人、京大4人)、七尾(東大1人、京大3人)を大きく上回った。富山県内では富山中部が東大24人と素晴らしい合格者数を出したが、京大7人と合わせると31人で泉丘の方が多い。次いで高岡(東大15人、京大3人)、富山(東大5人、京大0人)となっている。

その他の難関国公立大では阪大20人、東北大17人、 名大14人、神大11人、北大9人、東工大4人、一橋大、 九州大各2人が合格した。

なお、地元の金大には88人(現役67人)、うち医学 部医学科には17人(同8人)が合格した。医学科全体 の合格者は21人(同9人)だった。

男子弓道部員たち優勝の喜びに湧く1、2年生



男子弓道部が久々の優勝

令和2年2月8日、石川県立武道館で行われた第35回県高校弓道如月大会で泉丘の男子が久しぶりに優勝した。昨年の総体では女子が団体優勝したが、男子は予選落ちしており、今回の優勝は快挙といえる。

大会は5選手が出場、1回4射ずつを3回行うもので、泉丘は60射中36射を命中させた。顧問の土田幸穂 先生は「技術的指導より部員の自主性を尊重、部員たちで考え真剣に練習した結果だ」と部員たちの努力を 誉めた。

登山部が総体4連覇、新人大会2連覇

令和元年5月末に白山山系で行われた石川県高校総体で4連覇した泉丘の登山部は、8月初旬、宮崎県の祖母山での全国大会に臨み、前年より1つ上位の14位

になった。

さらに、9月19日から21日まで富山県の薬師岳で開かれた石川県の新人大会でも優勝、こちらは2連覇となった。部長の庄田将樹君(29ホーム)は「1、2年生とも初の公式戦で緊張したが、ミスなくこなせた。体力面では普段のトレーニングが活きてきた」と話し、令和2年の総体は5連覇を目指す」と抱負を語った。

新聞部が県文化優秀賞を受賞



石川県文化優秀賞の 贈呈式が12月9日、県 庁で開かれ、7月の全 国高校総合文化祭の新 聞部門で最優秀賞を獲 得した泉丘高新聞部に 谷本正憲知事から表彰 状が贈られた。高校生 の受賞は初めてで、谷 本知事は「今回の受賞

を励みにこれからも頑張ってほしい」とさらなる活躍を期した=写真=。新聞部の松井久和部長と加藤愛弓副部長(いずれも2年生)が知事室を訪れて懇談、ねぎらいを受けた。

県文化優秀賞は、いしかわ文化振興条例が施行されて5年目になるのを機に新たに設けられたもので、全国大会で顕著な成績を残した人や団体に贈られる。

〈編集後記〉

近年の泉丘高生は文武両道に素晴らしい成績を残している。その活躍ぶりは前身の一中時代にも負けないほどで、我々同窓生の誇りでもある。

まず「武」の方だが、令和元年度の石川県高校総体の総合成績は5位。その前3年間は4位。上位3校が私立だから公立では常にトップクラスを保っているといえる。その裏付だが、全生徒の89.5%が部活動を行っているのが功を奏しているのでなかろうか。

また「文」の方だが、このページのトップに示した 通り、難関大学への合格者が増え続けている。土、日、 休日に学校で勉強する生徒が多い。場所も教室だけで なく生徒ホールや食堂といろいろだ。「学校へ来ると みんな頑張っており、自分も負けないぞと気合が入り、 能率も上がる」とのこと。

学校も勉強している部屋に冷暖房をつけるなど、粋な計らいを続けている。頑張れ、現役生! (N)

「一泉」編集室

中山一郎(泉丘10期) 浅香以都子(同10期) 小林弘子(同12期)

題字・普神貴行(一中56期・泉丘2期)